

●葉の形を描いてみよう

葉のフチの高さやトゲトゲにも注目しよう



オニバス



パラグアイオニバス

●宿題

パラグアイオニバスは南米原産だ。大きな沼地に生えるんだけど、どの国だろう？

名前に国名が入っているね。家に帰って世界地図で調べてみよう。

2006年8月発行 名古屋市東山植物園 2023年7月改定

スイレンの仲間

オニバスとオオオニバス

___月___日 なまえ___

★オニバス属のオニバスは日本の池などにも自生するスイレンの仲間で、夏頃、シワの入った巨大な葉を水面に広げる。葉の表裏や茎には大きなトゲが生えているので、「オニ」という名前がついた。日本では絶滅危惧種になっている。

★オオオニバス属は、子供が乗れるほど大きな葉になるスイレンの仲間で、現在3種（オオオニバス、パラグアイオニバス、ウィクトリア・ボリウィアナ）あることが知られている。

★パラグアイオニバスの花は夕方から開きはじめる、翌朝閉じる。2日目の夕方再び開き、3日目の朝には沈んでしまう。「それじゃ花見られないじゃん」いえいえ、だいじょうぶ。2日目には日のあるうちに咲き始め、8月下旬で夕方4時すぎから開き、秋になるほど早く咲くようになるし、朝花が閉じるのも遅くなるから、観察のチャンス。1日目と2日目では花の色も変わる。

※植物園でオニバス、パラグアイオニバスが見られる場所（葉もしくは花）

オニバス：多肉植物室裏 鉢（温室前館と後館の間）（夏～秋）

パラグアイオニバス：温室前スイレン池（初夏～秋）

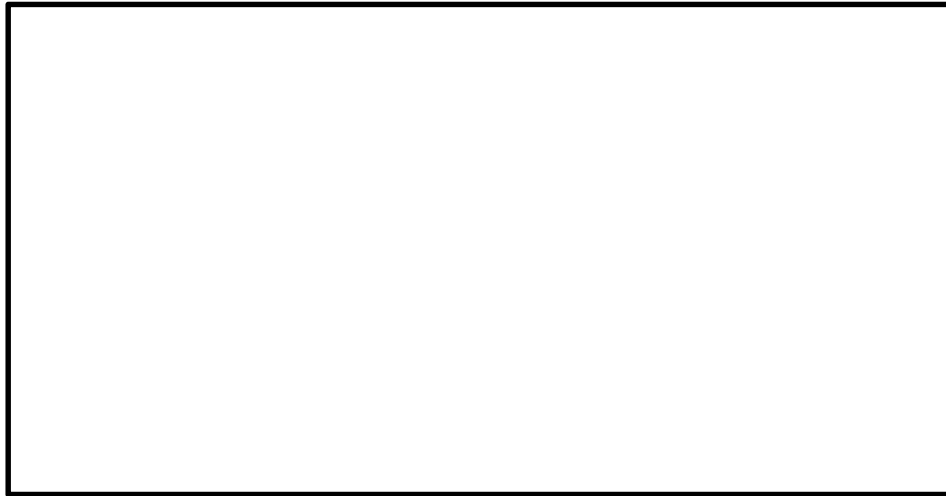
★パラグアイオニバスの開花時計

※花が見られるチャンス

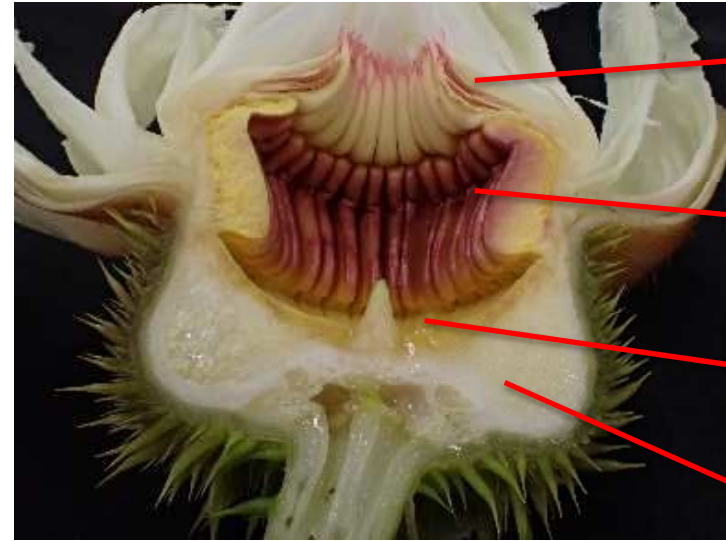
- 1 日目 午後 4 時半ごろ甘い香りがただよう ※閉園間際
午後 7 時すぎから開花
- 2 日目 午前 8 時ごろ閉じる
午後 4 時ごろ開き始める (香りはほとんどない)
- 3 日目 午前 9 時半ごろ閉じて水中に沈む

●何月何日の何時に、何色の花が見られたか過記録しよう。
夏から秋に向かって、花が咲く時間はだんだん早く、閉じる時間はだんだん遅くなるよ。1 日目と 2、3 日目では花の色も変わる。

__月__日 午前・午後__時__分 色____
__月__日 午前・午後__時__分 色____
__月__日 午前・午後__時__分 色____



●自分が見た花のようすを描いてみよう
(茎の長さや水面からの高さにも注目して書いてみよう)



100 個以上
あるおしべ

偽 (にせ) の
めしべ

盤状のめしべ

実になる部分：
たくさんの
種のもとがある
子房 (しぼう)

パラグアイオニバスの花 (1 日目の断面)



パラグアイオニバスの葉裏のようす
太い筋が巨大な葉を強くし、網目状のくぼみに空気を
ためて水に浮く。1 日で 20~60 センチ大きくなる。